

第5章

材料の取り扱いと保管

あらまし

どんな建築業でも仕事には、しばしば困難な状況の下で、材料、道具、および設備の格納を行うことがある。不十分や不注意な取り扱いからの負傷、材料と設備の不注意な格納リスクでの損害、損失や窃盗、これらの費用は、莫大である。これは工事の遅れと請負業者に不要な費用を発生させる場合がある。材料と設備の移動と格納の際のリスクは、いくつかの簡単なガイドラインに従って、常識のレベルで対応することで、最小にすることができる。

この章では以下の課題を扱っている。

- 安全な取り扱い
- 木材と合板
- 木工製品(ドア、フレーム、ユニット)
- 金物
- 接着剤
- レンガ、ブロック、および他の煉瓦積み材料
- 骨材と袋詰め材料(砂、セメント、漆喰)
- 塗料と装飾工具設備
- 化学物質
- 可燃性液体
- ガラス



こうした課題は、以下の技能資格モジュールに該当している。

CC 1001K

CC 1001S

安全な取り扱い

第2章安全衛生では、さらに詳細に安全なマニュアル・ハンドリングを説明している。-43-45ページを参照。どんな材料や設備も扱うときにもいつも。その安全衛生について考えていなければならない、そして、新規入社・入場の際に説明されたマニュアルの実践を忘れないことである。

Definition



定義

Manual handling 人力作業

荷物を持ち上げる、運ぶ、押す、あるいは引くために体を使うこと。

あらゆるものを覚えておくことはあまり期待できないが、基本的な常識は、安全な作業を助けてくれるに違いない。

- 作業中はヘルメットと安全靴をいつも着用する。
- 必要なときは、手袋と耳の保護具を付ける。
- 使用されない、残材、材料、道具、および設備を片づけ作業スペースを確保する。
- 食事前に手を洗う。
- 作業開始前に、保護クリームを塗る。
- いつも正しい持ち上げテクニックを使う。

どんな材料や設備を動かすときも、与えられた指示に確実に従うようにする。主な留意点は以下の通りである。

- マニュアル・ハンドリングをしない（機械的手段でプロセスを支援する）方法を試みる。
- 最初に、荷を扱う最も良い方法を選択するために、いつも状況を評価すること。
- リスクをできるだけ減少させる（例えば、非常に重い荷は分ける、持ち上げる前に、運搬経路から障害物を動かすなど）。
- 何をしているかを周りの人に言うこと。
- 荷の扱いで助けが必要な場合は、手伝ってもらうようにする。対処できることを超えて、何かを持ち上げようとしないこと。

Did you know?



知ってる

イギリスでものを扱ったり、持ち上げたり、運んだりしてけがをした人は、2004年、2005年の2年間で5万人以上になっている。（出典：英国安全衛生庁）

木材と合板

利用可能な木材や、合板、シート材にはさまざまなものがあるが、最も一般的であるのは、次のようなものである。

Page 93

乾燥木材

乾燥材木は、天井や床板、間仕切り壁の間柱やその他の枠組み材など、非耐力部材として使用される木材である。通常は、覆いのある外部に格納される。地面から離して材木受けの上に置かれるべきである。地面は、植物から離れていて、理想的にはコンクリートで仕上げられた所に置かれるべきである。これにより木の破損や腐食をもたらす、地面から湿気の吸収のリスクを減少させることができる。木材を支え、空気の循環をさせるよう、それぞれの材木の層の間に、枕（片方向あるいは十字の）が約600mm間隔で置かれるべきである。風雨から木材を保護するのにタール塗り防水布やプラスチックのカバーが用いられるかもしれないが、重なりを通して空気が自由に流れるよう注意しなければならない。図5.1を参照。

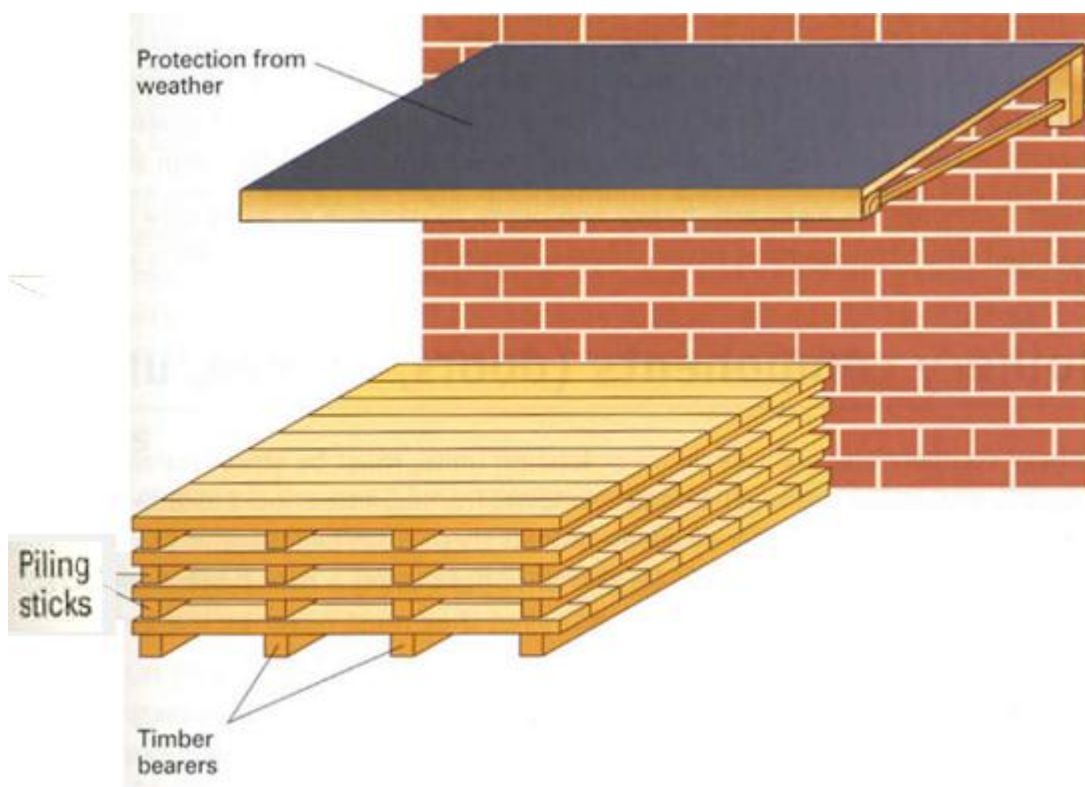


図 5. 1 乾燥木材の正しい保管方法

Remember



覚えて

木材を保管するのに使用される保管ラックは、木材の重さを考慮しなければならない。保管される材料の出し入れしやすさも、もうひとつの重要な考慮すべき事柄である。

木エグレード材と硬木

これらの木材は、できるならば格納棚にあるいは可能な場所に、完全なカバーの下で格納されるべきである。良好な換気も、湿気の吸収による含水率の上昇を避けるのに必要である。また、この種の木材は、周到に準備されたベース上の受け物の上に格納されるべきである。

ベニヤ板と他のシート材

すべてのシート材は、乾燥し、よく通気された環境で格納されるべきである。専用のカバーが、ほとんどのシート材の保護のための利用はたやすく、専用でないタイプが使用された時に引き起こされる結露防止を助けてくれる。

Find out



調べて

シート材を運ぶ際に必要なPPE（個人防護具）は何か。

Page 94

シート材は、弛むのを防ぐために、木製の交差した受け台の上に、相互に密着させて積み重ねられるべきである。また、スペースが限られているところでは、シートを背板に寝かせるようにできる、専用の棚に立てて格納することもできる。簡単に置いたり、取り出したりできるよう、合板の周囲には十分なスペースがあるべきである。格納棚は、シート材が前部あるいは後部のどちらかから取り出せるようデザインされるべきである。



シート材の格納

材料が曲がった場合、修正するのが難しいので、壁にシート材を寄りかけて立てかけるのは、推奨できない。

表裏があるか、装飾面があるシート材において、動かされる際のシートの摩擦による損害のリスクを最小とするよう、互いを置くようにすべきである。異なったサイズ、グレード、および品質のシート材は、メインの積み重ねから分けられた端材とともに、別々に保管されるべきである。

シート材は、やっかいで、重くて、損傷を受けやすいので、輸送するときには、注意が不可欠である。またいつも正しい個人防護具（PPE）の着用を確実にすること。

Safety tip



安全情報

サイズ、形、および重さからシート材を持ち上げ運ぶには、他人の助けを求め、できれば荷を輸送するのに、専用の合板手押し車を使用すること。

木工製品（ドア、フレーム、ユニット）

ドアやキッチンユニットなどの木工製品は、損害を防ぐため、安全にきっちりと格納しなければならない。ドア、窓、フレームなどは、理想的には、風雨の曝露から保護するようカバーをかけ、木製の受け台に平らに格納されるべきである。スペースが限られているところでは、ラックシステム（シート材を格納する方法と同様の）を使用することで、垂直に格納することができる。しかしながら、曲がったドアやフレームを、取り付けるのは非常に困難になるので、決して壁に寄りかけて置いてはいけない。

壁吊ユニットや床置ユニット一台所、寝室や洗面のユニット一平らな面に、二つ以上は重ねないで置かれなければならない。チップボードなどの多孔質材からユニットが作られている可能性があるので、建物の内部に格納されることが重要で、それらが二重搬送を避けるよう、望ましくは、取り付けられる部屋に格納するのがよい。塗料の染みや、損害を防ぐためにユニットをカバーするため、保護シートが使用されるべきである。

額縁材のような木工製品やコンポーネントは、理想的には取り付けられる部屋に、すべてが格納されるべきである。これによりそれぞれの部屋に順応して、取り付けられた後の収縮やひずみを防ぐことができる。この過程は、“第2次乾燥調整（second seasoning）”として知られている。



図5. 2 ドアは平面に積み重ねておかれるべきである。

Did you
know?



知ってる

木材や木質材料は、含水量が高すぎると腐る、虫害、曲がり、ゆがみなどの他の多くの欠陥を生みやすい。適切な乾燥調製と薬剤散布で、こうした欠陥が起こるのを防ぐことができる。

Page 95

金物

金物は、鉄で作られた部品と緊結金物だけではなく、真鍮、クロム、磁器、ガラスを含む、その他の材料から作られたハードウェアも含んでいる。よく見かけるものには、ドアハンドル、フック、錠、蝶番、窓金物、ねじ、およびボルトなどがある。

ドア金物

錠、ボルト、郵便箱、ロッカー、ハンドルするようなドア金物は、“欲しい”品目で、しっかりと格納しないと、非常に盗まれやすそうであることを意味している。倉庫管理者は、通常、こうした品目の格納と分配に責任があって、誰に、いくつ配ったかチェックし記録している。

また、しっかりと格納されることに加えて、ドア金物は、格納システムの仕切られた区画に、少なくとも棚の上に保存されるべきである。可能なところならば、すべてのドア金物は、必要とされる時まで、メーカーのパッケージのままにしておくべきである。こうすることにより、ねじや錠などの部品の損傷と損失を防ぐことができる。大きく重い品目は、不要な持ち上げ避けるため、棚の低い所に格納されるべきである。



ドア金物の例

緊結金物

それぞれのタイプの緊結金物は、ある特定の目的でデザインされており、釘、ねじ、ピン、ボルト、ワッシャー、リベット、プラグなどの品目がある。ドア金物のように、その格納が倉庫管理者によって監督され、コントロールされないと、緊結金物は、紛失しがちである。

緊結金物は、良好な状態で保存し、探し出すのを容易になるよう、適切に格納しなければならない。可能なところなら、サイズやタイプを記したバッグや箱の中で保管すべきである。仕切られた区画に格納するのは、最も便利な方法である。これにより必要な時に簡単に速い選択が可能で、間違った緊結金物が使われるのを防いでくれる。

混ざってしまった緊結金物の、タイプとサイズを整理するための時間は、担当者だけでなく雇用主にとっても時間の浪費となる。



異なったタイプの緊結金物は、分別して格納すべきである。

Safety tip



安全情報

不注意に捨てられた、釘などのよう緊結金物は、損失になる可能性があるが、安全衛生の危険を引き起こすこともある。

Remember



覚えて

壊れた緊結金物は、注意を払って廃棄すべきである。

接着剤

接着剤は、表面どうしを接着する（貼る）のに使用される物質である。その化学的性質のため、正しく格納され、使用され、扱われないなら、接着剤にともなう多くの重大な危険性がある。すべての接着剤はメーカーの指示に従って格納されるべきである。安全で安心な場所（望ましくは鍵のかかる倉庫）の棚に、外側に面してラベルを貼って格納することが、通常必要となる。正しい接着剤が選択できるように、外側に面して貼られたラベルで保管されることが重要である。

接着剤の使用に関連したリスクのレベルは接着剤のタイプに依存している。リスクには、次のようなものが含まれる。

- 爆発
- 中毒
- 皮膚の炎症
- 疾病

第2章安全衛生で説明したように、これらのタイプの材料は COSHH によって、厳密に管理され、COSHH は、それらの格納と使用に伴うリスクが最小となることを目指している。すべての接着剤には、推奨有効保存期限がある。格納する際は、最も古いストックが前面に置かれ、最初に使われることを確実にすることを、考慮に入れなければならない。

一度開かれた接着剤の有効である期間について、メーカーのガイドラインの参照を忘れないようにする。接着剤は、不十分な保存と使用までの長い時間によって、接着力の損失をともなう悪い影響を受けることがある。



接着剤はメーカーの指示に従って格納されるべきである。

Definition



定義

Shelf life 有効保存期限

保存している間、そのものの有効性が残されている期間。

レンガ、ブロック、および他の煉瓦積み材料

レンガの格納

現場に配送されるほとんどのレンガは、現在、レンガの使用が整うまで分離しないよう、プラスチックや金属のバンドがされ、梱包されている。通常、フォークリフトやクレーンで運搬されるので、その間に損傷しないよう、プラスチックの帯が縁に付けられ保護されている。通常、風雨から保護するため収縮包装のプラスチックで覆われる。

現場に到着の際には、作業者の負傷の原因となるので、崩れないよう2パックを超える高さには積まないようにして、平地の上に格納すべきである。使用とする場所の近くに格納されるべきで、そうすることで更なる運搬を最小限に抑えられる。大きい現場では、遠い場所に保管され、伸縮リフト車 (telescopic lifting vehicle) で使用する所定の位置に運ばれるかもしれない。

Page 97

とくに地面が平らでない場合そうであるが、パッケージが切られると、レンガが崩れ、けがやレンガが損傷するので、パックを解いてレンガを使用するときには、最大の注意が取られるべきである。レンガは、少なくとも3つのパックから取るようにして、色が変わらないよう混ぜるようにすべきである。窯の焼成過程でレンガの位置でわずかな色の差を引き起こすことがあり、窯の中心近くでは色は明るいものになり、窯の縁近くでは熱の強さから色が暗くなる。もしレンガが混ぜられない場合、色合いが次第に変わっていく区画になるかもしれません。これは縞と呼ばれ、ほとんどの場合、最も未経験な人の目にも映るものである。

レンガが手で降ろす場合、平らで堅く、よく乾いた地面の上に、短辺を下にした列で積み重ねられるべきである。積み重ねの両端は結束され、1.8 m以上には高くしないようにする。雨と氷結からレンガを保護するため、すべての積み重ねを、タール塗り防水布かポリエチレンシートで覆うべきである。

Safety tip



安全情報

配送の際にレンガを積み下ろすのに使用されるクレーンから、十分に離れて立ち、注意を払うこと。

Did you know?



知ってる

レンガの中の可溶性塩によって引き起こされた白華現象は、染みが残ることがある。染みをブラッシングで払い除け、適切なコーティングで、問題を解決することができる。

ブロック

ブロックはコンクリートから作られ、高密度のものと、軽量のものがある。軽量ブロックは、たくさんの気泡を含んだ細骨材から作られている。ブロックの格納は、レンガと同様に行う。

Did you know?



知ってる

レンガやブロックを積む際に、寒過ぎると、セメントが適切に固まるのを妨げるので、温度を考慮に入れなければならない。

Safety tip



安全情報

ブロックの作業の時には、適切な PPE（個人防護具）を必ずいつも着用すること、安全靴、安全手袋、安全ゴーグル、フェイスマスクなど。

舗床ブロック

舗床ブロックは、コンクリートや石から作られていて、さまざまなサイズ、形、および色のものがある。舗道や中庭の外観を良くするために、舗床ブロックを敷き、テクスチャーを付けるのに使われる。

舗床ブロックの格納

通常、舗床ブロックは、収縮包装プラスチックで覆われ枠箱に入れられるか、パレットの上にバンドとカバーがなされ、レッカー車で現場に届けられクレーンで積み下ろされる。安全の理由と、重みの圧力によるブロックの損傷を防ぐため、2パック以上は、積み重ねるべきではない。

手で降ろされた舗床ブロックは、外部に格納し、平らに置くと、その重みで損傷するので、下側のものを保護するよう、立てて積み重ねるようにする。積み重ねは、他の物が寄りかけられるよう、10から12枚のブロックを平らに置き、その脇から始めるようにする。少ない数の舗床ブロックだけを格納する場合は、平らに重ねて格納することができる（重さが、少ないので）。

舗床ブロックは、固い面の上だと破損を受けるので、縁を保護するため木製の受け木を下に置き、平らで堅い地面の上に、格納されるべきである。雨や氷結から保護するため、タール塗り防水布かポリエチレンシートでカバーして、舗床ブロックを守るのは賢明である。

Safety tip



安全情報

列が倒れるのを防ぐために、長い列の中間に平らに積み重ねたものを置くのは、良い習慣である。



平らに重ねた舗床ブロック



パレットの上の舗床ブロック

Page 98

縁石

縁石は、仕上げ面を保ち、直線や曲線を与える、道路と小道の縁に置かる、コンクリート製のユニットである。一般的な縁石のサイズは、幅100mm、高さ300mm、長さ600mmである。小道の縁石は、幅50mm、高さ150mmと長さ600mmとなっている。

縁石は、手がかかるスペースや、機械で持ち上げる際の、吊具のスペースを提供するため、木製の受け木の上や、端を張り出して積み重ねられるべきである。互いの上に積み重ねられる場合、積み重ねは3段を超えないようにする。雨や氷結から縁石を保護するため、タール塗り防水布やシートで覆うのは、賢明である。



積み重ねられた縁石



積み重ねられたプレキャストコンクリート楯

プレキャストコンクリート楯

楯（まぎさ）は、レンガやブロックの壁の開口部の上に置かれ、開口部に橋を掛け、その上のレンガやブロックを支える部材である。強度のために下側付近に鉄筋を入れ補強したコンクリートから作られ

ており、そのためプレキャストコンクリートの楣には、上側部分に“T”や”T o p “と彫り込まれている。プレキャストコンクリートの楣は、開口部のサイズに合うよう、さまざまなサイズになっている。積み重ねと保管方法は、縁石と同様である。

Page 99

排水管

排水管は、ガラス質土管やプラスチックから作られている。ガラス質土管には、受け口付き、エンド栓、直管があり、プラスチック・カップリングで接続される。プラスチック・パイプは、両端が単純な形で、接続しやすいよう潤滑剤を用いて、カップリングによって接合される。

Definition



定義

Vitrified ガラス質

ガラス化されているか、高温への露出でガラスのような物質に変換された材料

Remember



覚えて

ガラス質土管は、誤用されると容易に壊されるので、扱うときには、注意しなければならない。

排水管と部品の格納

パイプは、堅く、平らなベースの上に格納し、積み重ねの両側面に楔（くさび）を置きながら、回転を防ぐようにすべきである。パイプは、1.5 mより高く積み重ねないようにして、上に向かって並べる数を減らしてゆくようにする。



積み重ねられた排水管

受け口付きの土管と栓付き土管は、各列の終わりを1段ごとに交替させて、収納されるべきである。また、それらが回転するのを防ぐために成形木材のクロス受け材の上に積み重ねられるべきである。

バンド管のような、特別な形をしたパイプは別々に、できれば木枠の中に、必要になるまで収納されるべきである。

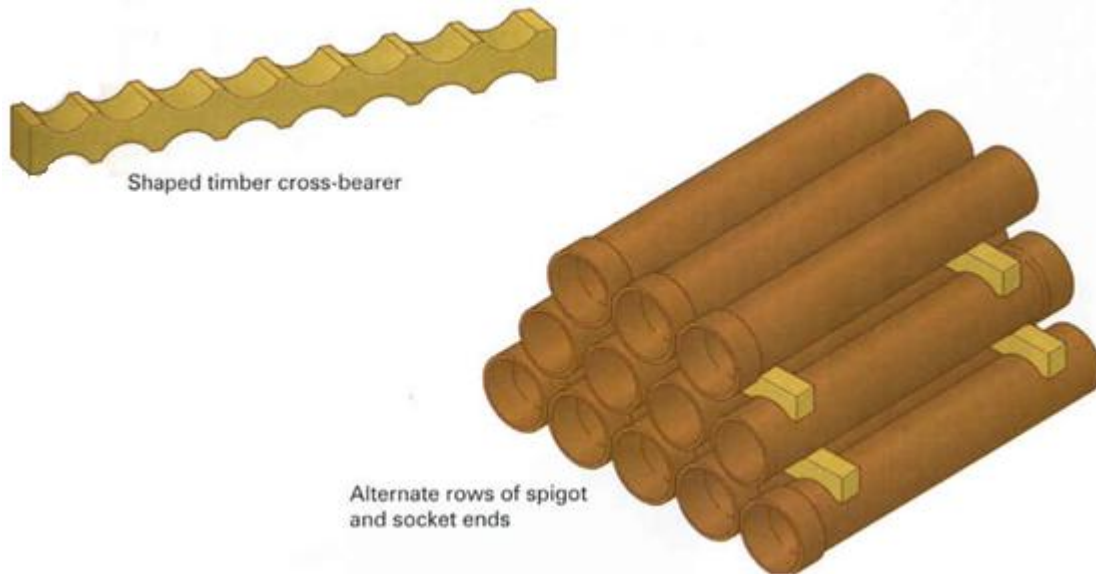


図5. 3 成形木材のクロス受け材と、成形木材のクロス受け材を挟んだパイプ

Page100

屋根瓦

屋根瓦は粘土かコンクリートのどちらかから作られている。それらは、機械製かハンドメイドで、さまざまな形と色がある。屋根瓦は、雨が建物に入るのを防ぐために働く。棟瓦は通常半円であるが、角形もしばしば見受けられる。

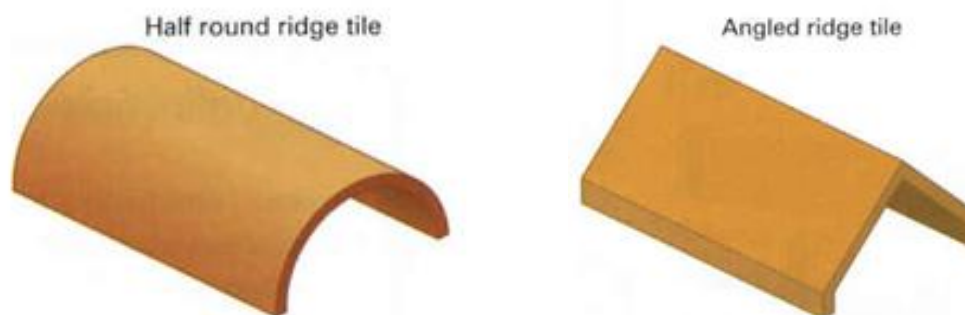


図5. 4 屋根瓦

屋根瓦の格納

屋根瓦は、平らで堅く、よく乾いた地面の上に、それらの“尖った部分”を保護するため、立てて積み重ねるようにする。図5. 4を参照。高く積み重ねても、6段を超えないようにする。転倒を避けるため、上に向かって並べる数を減らしてゆくようにする。列の端の瓦は列をサポートするよう平らに積

み重ねられるべきである。

棟瓦は、互いの上に積み重ねられるが、10個を超える高さに積まれるべきではない。

使用の前に雨や氷結から屋根瓦を保護するために、タール塗り防水布やプラスチックのシートで覆うべきである。

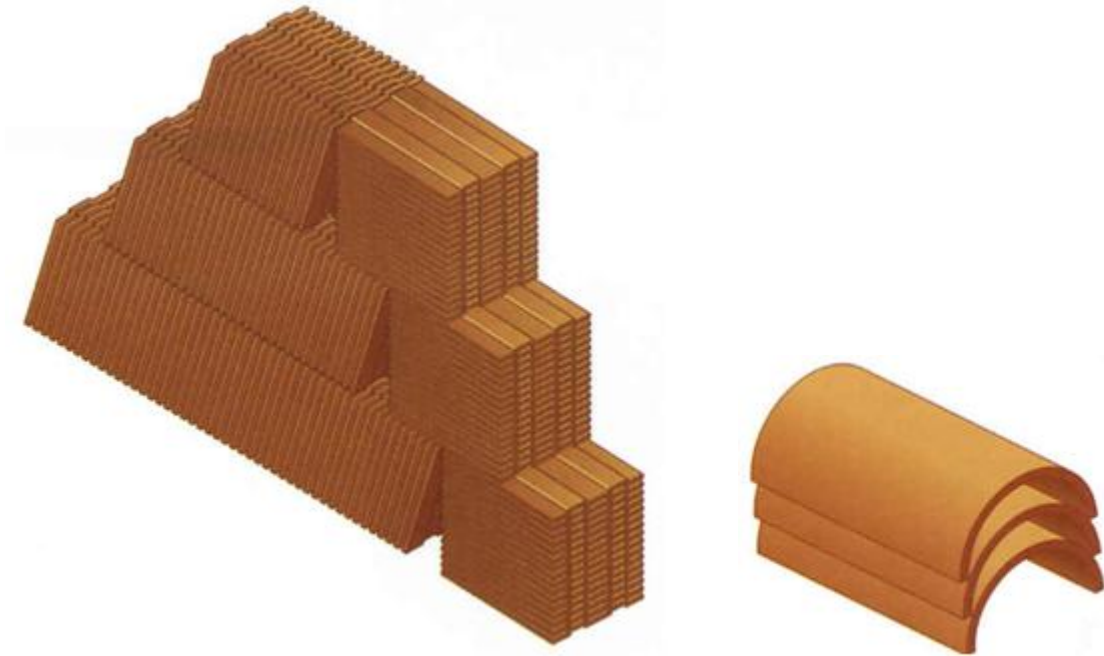


図5.4 屋根瓦の積み重ね

防湿層（DPC）

防湿層（またはDPC）や防湿膜は、建物の中に湿気の浸透を防ぐために使われている。フレキシブルDPCは、ポリエチレン、アスファルト、鉛などから作られ、異なった用途から、様々な幅のロールで供給されている。

また、防湿層としてスレートを使用できる。—古い建物では、しばしばスレートであるが、現代の建物は、通常ポリエチレンになっている。

防湿膜は、コンクリート床など広いエリアの防水バリアとして使用される。通常、1000ゲージのポリエチレンで作られ、通常、黒や青色の大きなロールになっている。



防湿層（DPC）

ロール材の格納

ロール材、例えば、防湿層、ルーフィングフェルトなどは、平らで、乾いた表面の収納庫に格納されるべきである。細長いロールは、棚に格納されるのがベストであるが、いかなる場合でも、圧縮による損傷の可能性の減少と、転がりの予防から、立てて積み重ねられるべきである。図5. 5参照。アスファルトの場合では、圧力の下では、層と一緒に溶けることにもなりかねない。



図5. 5 立てて格納されたロール材

骨材と袋詰め材料(砂、セメント、漆喰)

骨材

骨材は、モルタルとコンクリートを作るために、セメントと水に混ぜられる小さな粒や粒子である。骨材は、硬く、長寿命で、いかなる形の植物や水溶性の物が含まれていてはいけない。

骨材は2つのクラスで分類される。:

- 細骨材は、5 mm のふるいを通り抜ける小さな粒。
- 粗骨材は、5 mm のふるいに留まっている粒子。

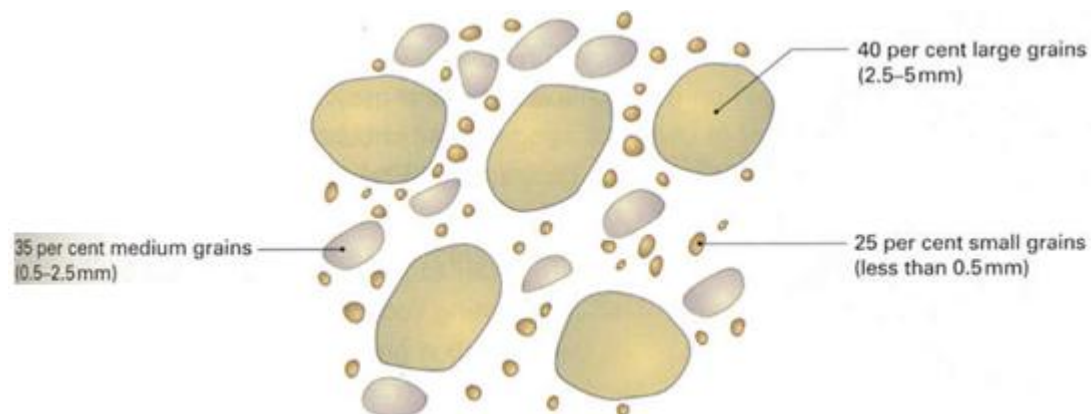


図5. 7 砂の粒子

最も一般的に使用された細骨材は砂である。砂は、穴や川床から掘られるか、または海から浚渫されたものである。

Did you know?



知ってる

海砂は塩を含んでおり、塩分は混和した際の品質に影響してくる。洗っていないものは、使うべきでなく、評判の良い会社から供給を受けるべきである。

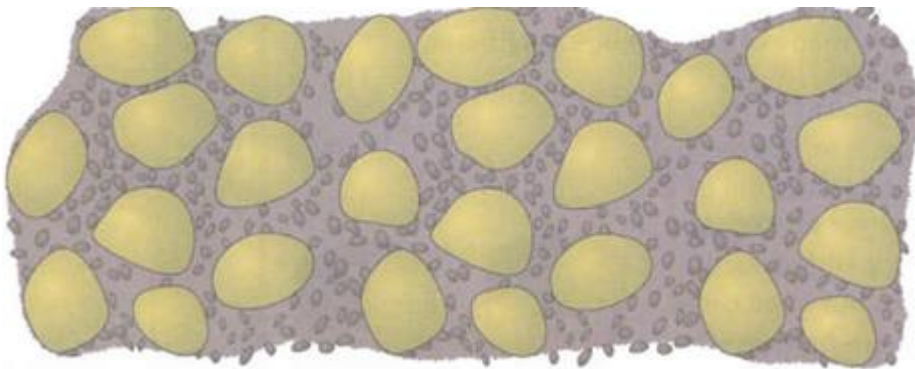
Remember



覚えて

不十分な等級の砂は、単一のサイズ粒子で、空隙を多く含まれており、その空隙を埋めるためのセメントを必要とする。

Page 102



良いモルタルは、“柔らかい”砂や“硬い”砂が混ぜられて使われている。グレードが高いものは、小さな粒、中くらいの粒、大きな粒が等量にあるものである。

図5. 8 モルタルの粒子

コンクリートは、丸みのある柔らかい砂よりは、より角張って粗さがある、“鋭い”砂を使用して作られるべきである。またコンクリートには粗骨材も必要である。通常、最も一般的な粗骨材は石灰岩の碎石で、採石され、10mm、20mm あるいはさらに大きいサイズ別に砕かれる。

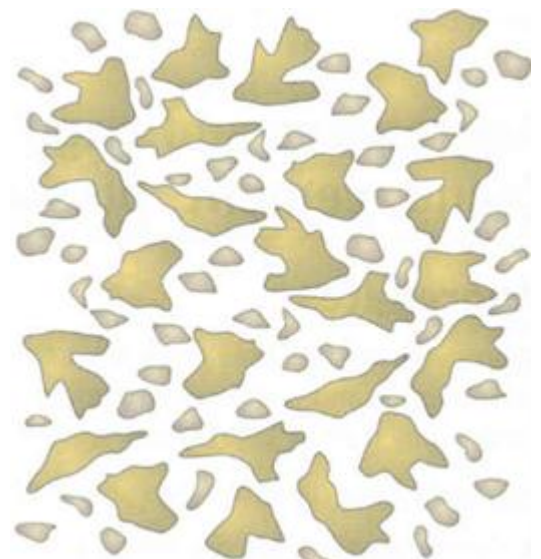


図5. 9 コンクリートの粒子

骨材の格納

骨材は、最近では、クレーンで扱われる 1 トンのバッグも利用可能であるが、通常ダンプトラックで運ばれる。骨材は、水が排水できるようにした、コンクリート底板の上に格納されるべきである。

落ち葉やゴミで汚染されないよう骨材を保護するために、樹木から離れた場所に、タール塗り防水布やプラスチックシートで骨材をカバーしておくのは、いい考えである。

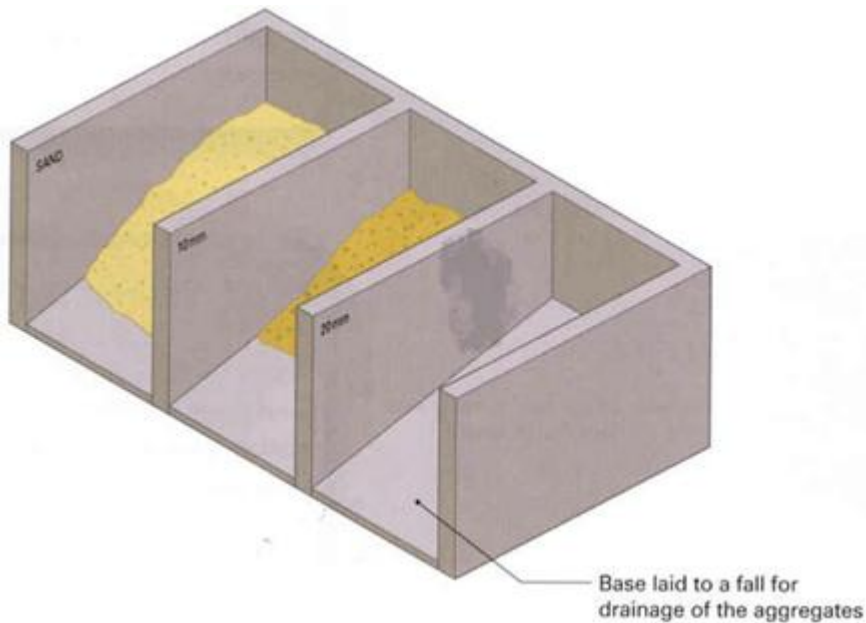


図 5. 10 骨材の格納庫

Remember



覚えて

異なった骨材が混ざるのを防ぐため、異なったサイズの骨材は、区画して格納すべきである。

Page 103

袋詰め材料

左官材料は、セメントや漆喰などがそうであるが、袋詰め材料として供給されている。

漆喰

漆喰は、石こうと水、そしてセメントか石灰から作られている。左官材料には、要望の仕上げ材を加えることができる。漆喰は、内壁や天井のために、目地なしの滑らかな装飾面を、容易に提供できる。

石こうプaster

これは、内部で使用され、異なったグレードの石こうが含まれている。プasterは下地塗りとしても利用できる。褐色着色のものは、煉瓦積みの下塗りとして通常使用されるが、多くの場合、1 コートの

プラスターが使用されている。石膏ボードでは、目地の仕上げに使用されている。

セメント砂漆喰

これは外部のレンダー、内部の下塗り、および防水仕上げ塗りに使用されている。

石灰砂漆喰

これは、下塗りとしてほとんど使用されるが、仕上げ塗りとしても時々使用されることがある。

Did you
know?



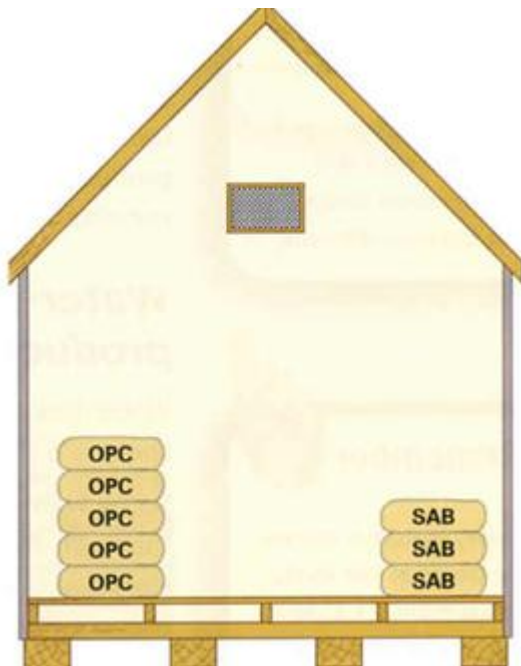
知ってる

大きい現場では、いくつかの会社が、仕事を終わらせるのに多くの左官を必要とする、広い面積の漆喰を短時間で塗るのに、マシンスプレーシステムが使用されている。

セメントと漆喰の格納

通常、セメントと漆喰、両方ともが25kgの袋が使われている。袋は、多層重ねのポリエチレン被覆紙で作られている。使用の前に袋に穴をあけないように注意しなければならない。手で積み下ろす場合は、通気され、防水されている収納小屋の中に、乾いた床のパレットの上に、それぞれの袋は収納されるべきである。クレーンで積み下ろす場合も、収納小屋に同じ格納方法で、それらを搬入すべきである。

袋は壁から離すようにし、5個を超える高さに積み重ねないようにする。配送された順番で袋が使われるのが、最も重要である。これにより袋が格納される期間を最小にすることができ、余分な材料の必要となる、袋の中での材料の硬化と、会社の費用追加を防いでくれる。



- 乾燥し、換気された収納小屋
- 在庫は古いものから順番に使われねばならない
- 5個を超えないように積む
- 壁から離す
- 床から離す

図5. 11 セメントと漆喰の収納小屋での格納

塗料と装飾工具設備

液状物質

油性製品

つやあり塗料やワニス塗料などの油性製品は、前側にラベルを貼った、明確に表示された棚に、格納されるべきである。これらは常に日付の順で使用されるべきで、それは古い在庫品が前部に、新しい在庫は後部に収納すべきであることを意味している。

油性製品は、成分が沈殿や分離をしないよう、一定の間隔をおいて上下反転すべきである。また、製品が被膜化しないよう、しっかり密封された容器の中に保存しなければならない。一定の温度で格納は、製品が望まれる粘度を保持するのを確実にしてくれる。

Did you know?



知ってる

製品ラベルあるいはメーカーの情報リーフレットで格納に関する指示を見つけることができる。

Definition



定義

Inverted 上下反転

上側を下にひっくり返す

Skimming 被膜化

最上層が乾燥して被膜ができること



正しい塗料の格納

Remember



覚えて

重い材料は、手での取り扱いを助けるために、低い位置に格納されるべきであり、2段目を超えた高さには積み重ねられるべきではない。

水性製品

エマルジョン塗料やアクリル塗料などの水性製品は、前側にラベルを貼り、日付順で棚に格納されるべきである。

いくつかの水性製品を非常に短い有効保存期限となっており、消費期限の前に使用しなければならない。油性製品のように、一定の温度で格納されるなら、水性製品はベストな状態で保存される。また、製品の水成分が凍るのを防ぐために、氷結からそれらを保護するのも重要である。

Note

注意

冬の間、車庫や小屋にエマルジョン塗料を残しておくのは、良い考えではない。

粉体材料

室内装飾業者が使用する粉体材料には、Artex®、目止め材、糊、およびアルカリ石鹼などが含まれている。

重い袋などの大きい品目は、地面かプラットホームレベルに格納されるべきである。小さな品目は、棚に格納するが、飛散しやすい材料は、密封容器が理想的である。

粉体材料は、有効保存期限が短く、高湿度状態で凝固する可能性がある。凝縮を含む湿気へ曝露や氷

結から保護しなければならない。これらのタイプの材料は、屋外に格納してはいけない。

チレンシートでカバーして、舗床ブロックを守るのは賢明である。

Safety tip



安全情報

粉体材料の大きな袋は、第一印象より実際には重たい。正しい手での取り扱い（マニュアル・ハンドリング）のテクニックを必ず用いるようにすること（第2章を参照）。

Page 105

有害物質

室内装飾業者の作業に伴ういくつかの物質は、揮発性と非常に可燃性といった特性とともに、潜在的な健康リスクになっている。有害物質管理規則（COSHH）のコントロールは、こうした材料に適用して、どう格納し、扱わなければならないかを詳しく述べている（第2章の安全衛生、36～37頁、を見て、COSHHの一般情報を参照）。

有害な装飾材料には、メチルアルコール、テレピン油、塗料うすめ液、およびワニス剥離剤が含まれる。これらは収納棚の特別な場所に、望ましくはCOSHHの必要条件を満たす、適切なロッカーや同様な部屋に格納されるべきである。温度環境で、貯蔵容器が拡張され、爆発を引き起こすことがあるので、温度は15℃未満であるよう保たなければならない。

液化石油ガスと他の非常に可燃性のある液体の格納については、後の107～108頁の本章でカバーしている。

Definition



定義

Volatile 揮発性

迅速に気化（ガスに変わる）する。

紙材料

壁紙

壁紙ロールは、端部の損傷を防ぐようにして、棚に格納しなければならない。マークされた番号が識別しやすいよう区分けして格納されるべきである。ロールは、包装のまま保管され、ほこりから保護されるべきであり、色あせをもたらすので、直射日光には決して当たらないようにする。

リンクラストなどのいくつかの特別な壁紙は、有効保存期限を考慮すべきで、最も古いストックを最

初に使用するようすべきである。



正しい壁紙の格納

Definition



定義

Lincrusta リンクラスタ

木製のパネルの装飾を模倣した、浮き彫りパターンの壁紙

Page 106

研磨紙

研磨紙は、グレードに関して明確にそれらを特定する区画で格納されるべきである、(ほとんどの研磨紙が裏面で粒子のグレードと紙の厚さが表示されている)。それらは、棚の上にシートならば平に、ロールならば垂直、あるいはリールで保管されようすべきである。

またもろくなので、過度の熱から研磨紙を遠ざけなければならない。また紙に粒子を結合させる接着剤が柔らかくなるガラス研磨紙とガーネット研磨紙は、湿気と凝縮を避けなければならない。

製品が望まれる粘度を保持するのを確実にしてくれる。

Did you know?



知ってる

塗料、壁紙、および装飾材料を扱うとき、暑過ぎるか、冷た過ぎるのは仕上がりに影響するので、温度は重要である。

装飾工具と設備

塵よけシート

塵よけシートは、きちんと折り重ねられて、棚の上に格納されるべきである。清潔なシートと汚いシートを別々に格納するのは、汚染を避けるために最も良い方法である。カビや織物疲労（織物が湿った紙のように手で崩壊する）を防ぐため常に乾いた状態で、塵よけシートは格納しなければならない。

Definition



定義

Mildew カビ

湿っている状態に生えている菌類

ブラシ

使用されたブラシは徹底的にきれいにされ、乾くよう吊るされるか、よく通気された棚の上に平らに置かれるべきである。新しいブラシは、必要になるまで包装のままおくべきである。乾燥させないでおくと、カビが濡れたブラシで生えやすく、詰め物を壊しかねない。長期間に使用せず格納されるブラシは、何らかの殺虫剤で、害虫から保護すべきである。この保護に、防虫ボール（樟脳など）は理想的である。

ローラー

ローラーに付いた塗料とクリーナーのすべてを取り除くために洗われた後にローラーは、よく通気された場所で乾くように掛けられるべきである。モヘアや羊毛ローラーは特別な配慮を必要とし、メーカーの取扱説明書を参照すべきである。



さまざまな工具や設備の正しい格納

Page 107

スチール工具

格納する前に、スチール工具を徹底的にきれいにし、軽く油をささなければならない。長期保存に

は、さびを防ぐため、油紙のラッピングが適切である。

化学物質

レンガクリーナーやある種の接着剤などの化学物質は、危険なものとして分類できる。すべての化学物質が、乱用や相互汚染を防ぐために鍵がかかる場所に格納されるべきである。新たに出くわした化学物質の格納の詳細をチェックのため、COSHH、やメーカーに問い合わせを行うべきである。

可燃性液体

液化石油ガス（LPG）、ガソリン、セルロースシンナー、メチルアルコール、塩化ゴム系塗料、および揮発油はすべて可燃性液体である。これらの液体は、作業員へのけがの危険がないようにするために特別な格納を必要としている。

- 容器は、格納部分から緩傾斜になったコンクリート床の特別な物置に格納されるべきである。これは、漏れた液体が容器の下に集まるのを防ぐためである。
- 物置はコンクリート、レンガまたはある他の耐火材料で建設されるべきである。
- 屋根は、爆発の影響も最小にするよう容易に破砕する材料で作られるべきである。
- ドアは、少なくとも厚さが50 mm以上で、外開きにすべきである。
- 構造で使用されるガラスは、網入りで、厚さは少なくとも6 mm以上にすべきである。
- 格納される中で最も大きな容器の中身を取り込むことができるのに十分な深さの、漏えい貯溜溝で、物置が囲まれているべきである。
- 容器はいつも垂直に格納されるべきである。
- 格納スペースは加熱されるべきではない。
- 電灯は本質的に安全なものにすべきである。
- 電灯のスイッチは、不燃なものを小屋の外部に設置すべきである。
- 小屋は、上下のレベルで通気されて、少なくとも2つの出口を持つべきである。

Page 108

- 喫煙を含んだ裸火や、スパークを発生させる材料は、明確に禁止されるべきである。
- 物置は、赤と白の正方形と“可燃性”の標識を掲げるべきである。

これらの要件に加えて、LPGのための格納規則がある。戸外で、通常は鍵のかかるカゴの中にLPGを格納しなければならない。床から離して格納され、直射日光、氷結、雪から保護されるべきである。LPGの格納は、可燃性液体と液化石油ガス規則によって管理される。50リットル以上を格納する場

合は、これらの規則が適用され、工場の地区検査官から許可を得なければならないことに注意する。

Did you know?



知ってる

“可燃物(inflammable)”は“可燃性(flammable)”と同じくらいのもを意味していて、容易に着火して急速に燃える。

Safety tip



安全情報

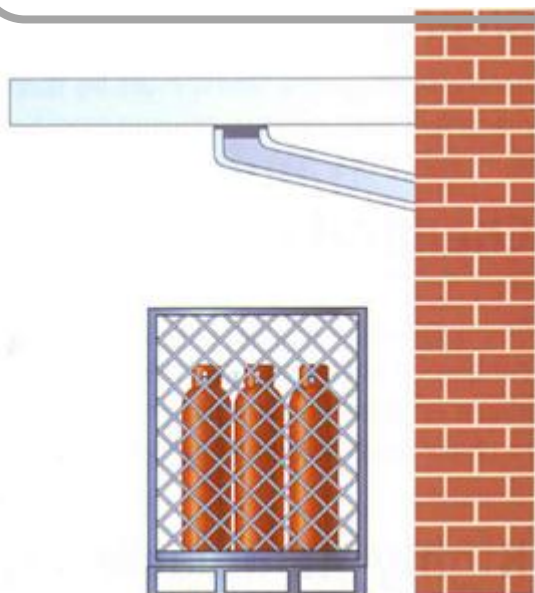
LPGや揮発油、アルコールなどは、喫煙を含んだ裸火に決してさらしてはいけない。これらは可燃性物質である。

Safety tip



安全情報

潜在的に危険な材料を扱うときには、適切な予防措置を必ず取ること。
例えば、安全手袋や安全眼鏡、作業エリアの換気など。



可燃性液体の格納

ガラス

ガラスはラックに垂直に格納されるべきである。ガラス格納される状態は次の通りすべきである。

- 清潔—汚い、ほこりだらけの状態ではガラスを格納すると、変色を起こす場合がある。
- 乾燥—ガラスのシートの間には湿気があると、相互が貼りつき、扱うのが難しくなり、ガラスを壊す可能性もある。

少ない枚数のガラスだけを、格納するならば、写真で示しているように、安定した面に傾きかけておくことができる。



ガラスの格納

Remember



覚えて

ガラスを扱うときには、いつも適切な PPE（個人防護具）を着用すること。

FAQ



材木の配送がありますが、材木置き場に余地が全くない場合、どうなるのか？

材木置き場から何らかの古い在庫を取り除き、ラックに立てかけるか、交差した受け台に平らに積み重ねるのが、おそらく最善である。この材木は最初に、そしてできるだけ早く、使用されるべきである。材木置き場に新しい材木が、これで格納できる。

LPG店でガス漏れに気付いた場合、何をすべきか？

LPGが漏れるのは非常に危険な状況として扱われるべきである。どんな照明も点けないようにし、またはどんな裸火、例えばタバコのライターも着火させないようにする。どんな種類のスパークもLPGに点火するかもしれない。至急、状況を報告し、自分で漏出を解決しようなどとしなさい。

On the job:



材木の荷降ろし

ダモンとモリーは、ちょうど届けられた材木を降ろすのを手伝っている。彼らは、貨物自動車から木工工場まで、それを運んで、材木置き場に置いている。ダモンが、ある材木を持って木工工場を歩いて歩いている間、彼はだれかが床に残したハンマーにつまづいた。その間、モリーは1枚の合板を持って材木置き場にいる。棚の上の合板の格納場所には、少しの余地もなかったため、彼女は壁に合板を寄りかけた。彼女は、シート材を立てて格納するのはOKであると聞いていたので、それは正しいはずである。ダモンとモリーが材木を工場に運び込む前に、ダモンの事故を避けるために、彼らは、何をすべきであったか？

モリーの合板の格納をどう思うか？

あなたは同じようにしたでしょうか？

Knowledge check



知識チェックリスト

1. 材料を積み込んで取り扱うとき、安全であるためにできる基本的な常識をいくつか挙げなさい。
2. 乾燥木材とは何か、そして、どのように格納されるべきか？
3. 材木を格納する際に、湿気にさらされないようにするのは、なぜ重要か？
4. あなたが壁に対してシート材料を格納するなら、何が起こるかもしれませんか？
5. 有効保存期間の短いものには、どのようなものがあるか。

(訳者注：日本語では知識チェックにならないので変更した。)

6. 接着剤に関連している4つのリスクの名前を挙げなさい。
7. レンガパックのために許容される最大の高さは、どのくらいか？
8. 舗床ブロックがどう格納されるべきであるか説明しなさい。
9. パイプは、なぜ材木の交差した受け木の上に積み重ねられるべきか？
10. 最も一般的な細骨材は何か？
11. どのようにして、骨材が汚染されるのを防ぐことができるのか？
12. 漆喰とセメントの袋はどのように収納されるべきか？
13. LPGは何ですか？
14. 研磨紙のラベルには何がかかっているか？
15. 可燃性の液体のための特別な格納小屋の特性について説明しなさい。
16. ガラスの格納のための理想的状態はどのようなものか、そして、なぜなのか？